



年 組 名前

道新で
ワークシート

卓上四季

2024. 8. 14

① 全国から集まった1期生24人は緊張していた。1876年（明治9年）のきょう。午前10時に札幌農学校の開校式が始まる。太いまゆと豊かなひげの米国人

が演台に立った。日本政府の招きで初代教頭に就いたクラーク博士だ▼式後まもなく、17歳前後だった新入生たちは博士の教育方針に驚かされる。校則がない。代わりの鉄則は「紳士たれ」のひと言だけだった。校則で人間は育たない。自らの良心で判断し行動する。すなわち自由と独立の精神の尊重であった▼講義は英語で行われた。学生が筆記したノートの不備は、クラークがそれぞれ丁寧に補った。農学、化学、土木工学…。高度な理論に加え実地の研究を重んじる。学生を率い山野で植物採集に励んだ▼こまやかな目配りを欠かさなかったことから「将門」のあだ名がついた。平将門が七変化して7人分の働きをしたという伝説にちなむ。奮闘ぶりが目に浮かぶ▼在任はわずか9カ月だった。けれど教育者としての感化は極めて大きい。内村鑑三と新渡戸稲造をはじめ、植物学の宮部金吾、土木工学の広井勇ら近代日本の礎を築く人々を生んだ▼「青年よ大志を抱け」。教え子への別れの言葉はあまりに有名だ。その陰に隠れた感はあるが、150年ほど前に残された「紳士たれ」を思い起したい。教育の理想を表しているから。

2024年8月14日（水）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

(1) ぼう線①「太い」の対義語を書きなさい。

(2) 次の選択肢のうち、記事の中でクラーク博士を示していないものはどれですか。

- ア、米国人
- イ、学生
- ウ、将門
- エ、教育者

(3) 次の選択肢のうち、クラーク博士の説明として当てはまるものを次から選びなさい。

- ア、全国から集まった札幌農学校の一期生のうちの一人であった。
- イ、講義を英語で行い、学生のノートの不備は丁寧に補った。
- ウ、学生に率いられ山野で植物採集に励んだ。
- エ、七変化して7人分の働きをした伝説が残っている。

(4) クラーク博士が教頭を退いたのは西暦何年ですか。

() 年